

# Dr. ジーアの My カルテ

全農家畜衛生研究所  
クリニックセンター



## 豚流行性下痢 (PED) とは

今年の冬は暖冬となりました。例年の冬場の管理と比べて畜舎内の温度管理などに気をつかう部分もあったのではないのでしょうか。2018年より豚熱 (CSF) の話題ばかりでしたが、一部地域においては豚流行性下痢の発生が継続していると報告されています。

### ● PEDと発生状況について

豚流行性下痢ウイルス (PEDV) を原因とする食欲不振と水様性下痢を主徴とする豚の急性伝染病で、家畜伝染病予防法では届出伝染病に指定されています。特に若齢豚で症状が重篤化しやすく、哺乳豚での死亡率は時に100%に達します。

2019年シーズン\*のPEDの発生は関東に限局していて、千葉県と群馬県、熊本県の3県で、延べ58農場、16,584頭で発生し、3,319頭の死亡が報告されています (3月30日現在)。

千葉県での発生は13年シーズン以降、18年シーズンに再び死亡頭数が増加し、19年シーズンもその影響が見られます。農場での防疫対策を継続している中でなぜ発生件数、死亡頭数が増加したのか解析が待たれるところです。

### ● PED対策について

PEDVの農場への侵入は、感染豚の導入、感染豚の糞便に汚染された人、車両及び物品の持ち込み等によって起こると考えられています。

このため日常より「農場に病気を

入れない」対策を行う事が重要です。農場への病気の侵入、農場内での病気の拡散は目に見えず、急速に広がっていきます。このため、ワクチンを使用して普段より備える事も

有効です。日頃より「農場に病気を入れない」ための準備は万全か、農場内での病気の拡散を助長するような管理になっていないか、今一度点検をお願いします。

図. 千葉県におけるPEDによる死亡頭数の推移

出典:農林水産省ホームページ  
豚流行性下痢より抜粋

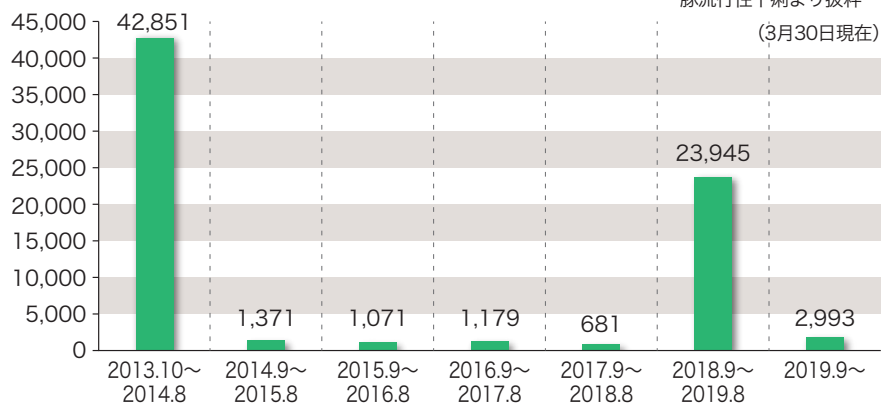


表. 豚流行性下痢対策

| 項目               | 内容  |
|------------------|---|
| 農場に病気を<br>入れない※1 | <b>車両からの伝播防止</b><br>①農場出入口への動力噴霧器設置<br>②未舗装の場合は、車両の長さの2倍の消石灰帯の設置<br>③車全体を洗浄した後、タイヤハウス、車体下部を重点的に洗浄・消毒する<br>④乗降用のステップやペダル、ハンドルをアルコールスプレーで消毒           |
|                  | <b>人による持込防止</b><br>①衛生管理区域、畜舎専用衣服、長靴の設置<br>②出入口に長靴や手指の洗浄設備、踏込消毒槽、手指消毒用アルコール設置<br>③着替え、履き替え前後で動線が交差しないう一方通行とする                                       |
| ワクチンの<br>使用※2    | 妊娠中の繁殖母豚に2回接種してその血中に抗体を産生させる。分娩後、多量の抗体を含んだ乳汁 (特に常乳) を哺乳豚が十分に飲む事により、哺乳豚の口から侵入したウイルスが腸管内で中和され、発症を阻止または軽減させることを目的とする (ワクチン接種については獣医師の指示に基づいて実施してください)。 |

※1 出典:農林水産省ホームページ「飼養衛生管理基準トピックCSFの侵入防止に向けた取組」より抜粋  
[https://www.maff.go.jp/j/syoutan/douei/katiku\\_yobo/k\\_shiyou/](https://www.maff.go.jp/j/syoutan/douei/katiku_yobo/k_shiyou/)

※2 出典:農林水産省「豚流行性下痢 (PED) 防疫マニュアル」より抜粋

\*1 シーズンは9月~翌年8月。